

芦屋市社会教育関係団体登録申請要領（改正案）

1. 芦屋市社会教育関係団体の登録制度

(1) 登録制度の目的

この登録は、芦屋市における社会教育活動を活発にするため、活動の支援や社会教育関係団体相互の情報交換を支援することを目的とします。

(2) 社会教育関係団体とは

芦屋市内には、学習会やスポーツチーム・クラブ、ボランティアサークルなど、さまざまな団体が自主的に活動しています。

学習・文化・スポーツなどの活動を通して、自己実現を図ったり、豊かな人間関係・地域関係を生み出す社会教育活動は、潤いと輝きのある地域文化・スポーツのまちづくりにつながる市民活動といえます。

このような、社会教育活動（社会教育に関する事業）を行うことを主な目的とし、教育委員会に登録をした団体を「社会教育関係団体」といいます。

*団体には会、サークル、グループ、クラブなどの呼び名も含まれます。

(3) 社会教育活動とは

社会教育活動（社会教育に関する事業）とは、技術の習得や教養を高めたり、生活を充実させたり、地域をより良くするために行われる学習・文化・スポーツ等の活動のことです。これらの活動は、団体の会員同士だけで行われるものではなく、会員以外の人にも対象に広く公開されるものです。

広く入会の機会を設けたり、日頃の活動の成果を地域に還元する機会を設けるなど地域に開かれた運営が求められ、これによって地域の絆が強まり、地域が活性化することが期待されます。

〔活動例〕

- 学習活動（話し合い、ワークショップ、講演、講習、研修など）
- 体育・レクリエーション活動（各種スポーツ、野外活動など）
- 文化・芸術・芸能活動（料理、園芸、手芸、写真、演劇、音楽、絵画など）
- ボランティア活動（子ども・高齢者に関わるボランティア、まちづくりのボランティアなど）

(4) このような団体は社会教育関係団体ではありません

会員によって自主的に運営されているのが社会教育関係団体であり、塾や町の各種教室のように講師（先生）が中心になって月謝をとり活動をしている団

体は、社会教育関係団体ではありません。

また、会員相互の親睦や交流のみが目的となっている団体も社会教育関係団体ではありません。

〈例〉

社会教育関係団体	私塾・文化教室
講師は全員の総意で決めます。	講師中心で縦の人間関係となります。
経理は会員の互選により係の者が行い、会費の経理内容は監査を受けて会員全員に公開します。	個人が直接、経営者もしくは講師に月謝を支払います。経理内容は通常公開しません。
会員の総意で民主的に運営します。	私塾・文化教室の経営者もしくは講師自らが運営します。

これらを含め、次の「2. 登録の要件」を満たす団体が社会教育関係団体です。

2. 登録の要件

- 1 公（国又は地方公共団体）の支配に属さない団体であること。
- 2 社会教育に関する事業を行うことを主たる目的として、自主的かつ主体的に活動を行い、次の行為を行わない団体であること。
 - (1) 営利を目的とした事業又は営利事業を援助する行為
 - (2) 特定の政党の利害に関する行為
 - (3) 公の選挙に関し特定の候補者を支持し、又はこれに反対する等の政治的行為
 - (4) 特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派、若しくは教団を支援する行為
- 3 団体の組織及び運営に関し、次の要件を備えていること。
 - (1) 過去1年以上の実績があり、継続的かつ計画的に活動を行い、事業の成果が地域社会に還元されることか期待できる活動であること。
 - (2) 組織及び活動に参加を希望する者が新たに加わることができること。
 - (3) 団体の構成人員が10人以上で、市内在住、在勤、在学の者が6割以上であること。
 - (4) 団体の主たる活動の場及び活動の本拠として事務所を芦屋市内に有すること。
 - (5) 原則として団体の代表者が芦屋市内に在住、在勤又は在学していること。
 - (6) 団体の組織及び活動のための会則（あるいは規約）を有すること。
 - (7) 団体の代表者及び役員が、その団体の活動に起因する対価を得ることがないこと。
 - (8) 活動のための自己財源及び団体独自の経理機構を有すること。

3. 支援内容

- ・社会教育に関する活動を行う場合、芦屋市内の決められた社会教育施設及び集会所の使用料が減免されます。
- ・団体の主催するイベント情報について、広報誌（市民のひろば欄）への掲載依頼ができます。
- ・市内の広報掲示板の使用許可を受けることができます。

4. 届出・登録方法

(1) 必要な書類

1. 芦屋市社会教育関係団体登録申請書（様式第1号）
2. 事業報告書・収支決算書（様式第2号）
3. 事業計画書・収支予算書（様式第3号）
4. 会員名簿（様式第4号）
5. 社会教育活動報告書（様式第5号）
6. 会則（団体で使用のもの）
7. 芦屋市ホームページ団体掲載用原稿

(2) 申請受付期間及び受け付け場所

1. 申請期間

① 6月15日～6月末日

② 12月10日～12月25日

※①, ②ともに土日祝を除く9時～17時（昼休み12時～12時45分）

2. 受付場所

芦屋市教育委員会 生涯学習課（市役所北館4階）

(3) 承認証の交付

登録申請に基づいて承認した団体には、「芦屋市社会教育関係団体登録承認書」を交付します。

(4) 芦屋市社会教育関係団体登録承認書の有効期限

1. 申請期間①は、申請した年の9月1日から平成24年8月31日まで
2. 申請期間②は、申請した翌年の3月1日から平成24年8月31日まで

(5) その他

登録された団体については、登録要件である団体の構成人数及び、市内在住、在勤、在学者の確認をするため、毎年4月1日現在の会員名簿を6月1日～6

月末日までに提出して下さい。

5 個人情報の取扱いについて

芦屋市個人情報保護条例に基づき、芦屋市社会教育関係団体登録申請書に記載されている個人情報については、資格審査、活動に参加を希望する市民からのお問い合わせによる団体紹介以外には利用しません。

また、芦屋市ホームページ団体掲載用原稿に記載された個人情報は本人の同意を得たりえて、ホームページ上で公開することにします。

※ 申請内容に変更があった場合は、すみやかに届出が必要となりますので、下記の手続きをしてください。なお、登録の要件に該当しなくなった場合は、登録を取消させていただく場合があります。

- ①変更…団体名、団体所在地、代表者及び連絡員の変更、会則（規約）の改正があった場合は、「芦屋市社会教育関係団体登録承認書」を添えて届け出てください。
- ②解散…団体が解散した場合は、「芦屋市社会教育関係団体登録承認書」を添えて届け出てください。
- ③「芦屋市社会教育関係団体登録承認書」再発行…紛失・破損した場合は、申請により再発行します。

◆申請書のダウンロード

社会教育関係団体の申請書類は芦屋市のホームページからダウンロードできます。

(トップページ→学び・楽しむ→教育→社会教育→社会教育関係団体の登録制度)

問 合 せ 先

芦屋市教育委員会生涯学習課生涯学習担当

(〒659-8501 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所北館4階)

(TEL) 0797-38-2091 (Fax) 0797-38-2072

芦屋市社会教育関係団体登録申請書 (新規・更新) ※○をつけて下さい。

芦屋市教育委員会 へ

社会教育関係団体として登録願いたく、下記の関係書類を添えて申請します。

※太枠内をご記入ください。

平成 年 月 日

<input type="checkbox"/>	ふりがな			登録 No.					
	団体名								
<input type="checkbox"/>	ふりがな			創立年月		1 昭和		2 平成	
	代表者名					年		月	
<input type="checkbox"/>	団体事務局または代表者住所※	〒	-	電話					
			市	携帯					
<input type="checkbox"/>	代表者住所 (上記※と違う場合のみ記入してください)	〒	-	電話					
			市	携帯					
<input type="checkbox"/>	事務連絡担当者	〒	-	電話					
			市	携帯					
				氏名 ()					
<input type="checkbox"/>	活動場所	1 市民センター 2 体育館・青少年センター 3 学校 4 集会所 5 その他 ()							
<input type="checkbox"/>	活動種類	1 PTA 2 青少年 3 スポーツ 4 芸術 5 芸能音楽 6 教養学習 7 コミク 8 その他 ()							
<input type="checkbox"/>	活動内容								
<input type="checkbox"/>	主な活動日	主な活動時間		午前・午後		時 分～		時 分	
<input type="checkbox"/>	会の目的								
<input type="checkbox"/>	ふりがな								
<input type="checkbox"/>	指導者								
<input type="checkbox"/>	現会員数	会員総数		人		男性		人	
		市内在住者		人		市内在勤者		人	
		市内在学者		人		その他(市外)		人	
<input type="checkbox"/>	会費等	成人		人		高校生		人	
		中学生		人		小学生		人	
		幼児		人					
<input type="checkbox"/>	役員構成 (氏名)	月額				円 (又は年額)		円	
		副代表(代表代理)							
		会計							
<input type="checkbox"/>	運営方法	総会の有無		1 あり 2 なし		役員会の有無		1 あり 2 なし	
		その他の方法 ()							

<関係書類について>

※関係書類に不備がないか、□内にチェックして下さい。下記を満たしている総会資料がある団体については、総会資料を提出していただければ結構です。

- 1 事業報告書・収支決算書 (様式第2号)
- 2 事業計画書・収支予算書 (様式第3号)
- 3 会員名簿 (様式第4号)
- 4 社会教育活動報告書 (様式第5号)
- 5 会則 (団体で使用のもの)
- 6 芦屋市ホームページ団体掲載用原稿

<個人情報の取扱いについて>

※芦屋市個人情報保護条例に基づき、今回ご提出いただいた芦屋市社会教育関係団体申請書の個人情報は、資格審査、活動に参加を希望する市民からの問い合わせによる団体紹介以外には利用しません。

事業報告書・収支決算書

団体名

--	--

事業報告書

活動日	名称	活動場所	参加人数	内容及び事業効果
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

※名称欄には総会、役員会、会員親睦会、大会、発表会など詳しくお書きください。

※定例的な練習、学習、稽古などは本様式に記入しなくても結構です。

※内容及び事業効果についても具体的に記入してください。

収支決算書

収入の部	項目	金額	内 訳
	前年度繰越金		
	会費収入		
	合計		
支出の部	科目	金額	内 訳
	講師謝金		
	会場使用料		
	事務費		
	通信費		
	会議費		
	合計		

※決められた書式はありません。事業計画書・収支予算書を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

(様式第3号)

事業計画書・収支予算書

団体名

--

事業計画書

活動月	名称	事業内容
月		
月		
月		
月		
月		
月		
月		
月		
月		
月		
月		

※総会、役員会、会員親睦会、大会、発表会など詳しくお書きください。

※定例的な練習、学習、稽古などは本様式に記入しなくても結構です。

収支予算書

収入の部	項目	金額	内訳
	前年度繰越金		
	会費収入		
	合計		
支出の部	科目	金額	内訳
	講師謝金		
	会場使用料		
	事務費		
	通信費		
	会議費		
	合計		

※決められた書式はありません。事業計画書・収支予算書を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

会 員 名 簿

団体名

--

	役職	氏名	住所 (在勤・在学者は名称と所在地を記入)	市内			その他 (市外)
				在住	在勤	在学	
<input type="checkbox"/> 1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

※会員名簿の内容を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

※会員が20名を超える場合はこの書式をコピーして使ってください。

社会教育活動報告書

社会教育関係団体は、組織及び活動に参加を希望する方が新たに加わることができるよう広く入会の機会を設けたり、日頃の活動の成果を地域に還元する機会を設けるなど地域に開かれた活動が求められます。活動のなかで、上記に該当するような活動を下記に記載してください。

<input type="checkbox"/>	団体名	
	活動月日	
	名称	
	場所	
	活動内容	
	活動月日	
	名称	
	活動内容	

芦屋市ホームページ団体掲載用原稿

<情報提供に係る同意>

下記の表に記載した個人情報について、芦屋市のホームページ上に公開されることに同意します。

代表者氏名



※下記の表の項目を、芦屋市のホームページ（社会教育関係団体の登録制度）に掲載します。

ふりがな								
団 体 名								
活 動 場 所								
活 動 日 時	定例	月	回	午前 午後	時	～	時	()
	定例	週	回	午前 午後	時	～	時	()
活 動 内 容								
連 絡 先	代表者			電話・FAX・Eメール				

芦屋市社会教育関係団体登録申請書 (新規・更新) ※○をつけて下さい。

芦屋市教育委員会 あて

社会教育関係団体として登録願いたく、下記の関係書類を添えて申請します。

※太枠内をご記入ください。

平成 23 年 12 月 15 日

□	ふりがな	○ ○ ○ ○ かい		登録 No.						
	団体名	○ ○ ○ ○ 会								
□	ふりがな	あしや たろう		創立年月		1 昭和 ②平成				
	代表者名 (会長)	芦屋 太郎 (印)				10 年 4 月				
□	団体事務局または代表者住所※	〒 659 - 0064		電話	0 7 9 7 3 8					
		芦屋 市 精道 町 ○ 番 ○ 号 ○○センター内		携帯	0 9 0	△△△△				
□	代表者住所 (上記※と違う場合のみ記入してください)	〒 -		電話	0 7 9 7 2 1					
		芦屋 市 南宮 町 △ 番 △ 号		携帯	0 9 0	△△△△				
□	事務連絡担当者	〒 659 - 0052		電話	0 7 9 7 3 8					
		芦屋 市 伊勢 町 △ 番 △ 号 氏名(鈴木 春子)		携帯	0 9 0	△△△△				
□	活動場所	①市民センター 2 体育館・青少年センター 3 学校 4 集会所 5 その他 ()								
□	活動種類	1 PTA 2 青少年 3 スポーツ 4 芸術 ⑤ 芸能音楽 6 教養学習 7 ミニカ 8 その他 ()								
□	活動内容	コーラス								
□	主な活動日	第1・第3水曜日		主な活動時間	午前・午後 18時00分～ 20時00分					
□	会の目的	コーラスを通じ、会員の健康の増進と親睦をはかるとともに、地域との交流を推進し、音楽の楽しさを広げる啓蒙活動することを目的とする。								
□	ふりがな	やまだごろう								
		山田 五郎								
□	現会員数	会員総数	15 人		男性	5 人		女性	10 人	
		市内在住者	10 人		市内在勤者	1 人		市内在学者	1 人	
		成人	15 人		高校生	0 人		中学生	0 人	
□	会費等	月額	1,000 円 (又は年額 円)		入会金	なし 円				
□	役員構成 (氏名)	副代表 (代表代理)	佐藤 夏子							
		会 計	田中 秋子							
		会 計 監 査	中村 冬子							
□	運営方法	総会の有無	①あり 2 なし		役員会の有無	①あり 2 なし				
		その他の方法 ()								

＜関係書類について＞

※関係書類に不備がないか、□内にチェックして下さい。下記を満たしている総会資料がある団体については、総会資料を提出していただければ結構です。

- 1 事業報告書・収支決算書 (様式第2号)
- 2 事業計画書・収支予算書 (様式第3号)
- 3 会員名簿 (様式第4号)
- 4 社会教育活動報告書 (様式第5号)
- 5 会則 (団体で使用のもの)
- 6 芦屋市ホームページ団体掲載用原稿

＜個人情報の取扱いについて＞

※芦屋市個人情報保護条例に基づき、今回ご提出いただいた芦屋市社会教育関係団体申請書の個人情報は、資格審査、活動に参加を希望する市民からの問い合わせによる団体紹介以外には利用しません。

事業報告書・収支決算書

<input type="checkbox"/>	団体名	〇〇〇〇会
--------------------------	-----	-------

 事業報告書

活動日	名称	活動場所	参加人数	内容及び事業効果
4月1日	総会	〇〇センター会議室	15	前年度の活動報告・会計報告、新年度の事業計画、予算案の話し合い。活動の評価と次への見通しを立て、計画的に活動を継続できるようにする。
4月10日	会員親睦会	〇〇集会所	12	会員相互のコミュニケーションを深める。それにより団体活動運営を円滑に行える。
5月13日	役員会	〇〇集会所	5	大会の打合せ
6月10日	コーラス協会近畿大会	〇〇センター	10	大会参加と応援。会員の技術向上に繋がり、また団体の存在・活動のPRにも繋がる。
6月20日	コーラス大会反省会	〇〇センター会議室	15	大会内容の反省及び課題の確認。会員の技術向上に繋げる。
10月3日	活動見学会	〇〇センター	20	入会の希望者や見学希望者に対し、日頃の練習風景を見学できる機会を設けた。
11月25日	役員会	〇〇集会所	5	発表会の打合せ
12月15日	コーラス発表会	〇〇老人ホーム	30	練習の成果を発表する。会員の自己実現を図る場となり、生涯学習への意識向上に繋げる。
1月10日	会員親睦会	〇〇集会所	15	会員相互のコミュニケーションを深める。それにより団体活動運営を円滑に行える。
3月2日	今後の活動内容検討会	〇〇センター会議室	12	来年度の活動方針の話し合い。

※名称欄には総会、役員会、会員親睦会、大会、発表会など詳しくお書きください。

※定例的な練習、学習、稽古などは本様式に記入しなくても結構です。

※内容及び事業効果についても具体的に記入してください。

 収支決算書

収入の部	項目	金額	内 訳
	前年度繰越金	60,000	前年度繰越分
	会費収入	180,000	15人×1,000円×12ヶ月
	合 計	240,000	
支出の部	科目	金額	内 訳
	講師謝金	36,000	3,000円×1回/月×12ヶ月
	会場使用料	92,000	・2,000円×3回(練習)/月×12ヶ月 ・総会、役員会、親睦会、発表会等の会場使用料
	事務費	20,000	資料代
	通信費	10,000	会員案内ハガキ 50円×200枚
	会議費	6,000	お茶等
	次年度繰越金	76,000	
	予備費	0	
合 計	240,000		

※決められた書式はありません。事業計画書・収支予算書を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

事業計画書・収支予算書

団体名	〇〇〇〇会
-----	-------

□ 事業計画書

活動月	名称	事業内容
4月	総会	前年度の活動報告・会計報告, 新年度の事業計画, 予算案の話し合い
4月	会員親睦会	会員相互のコミュニケーションを深める
5月	役員会	大会の打合せ
6月	コーラス協会近畿大会	大会参加と応援, 大会設営等の手伝い
6月	コーラス大会反省会	大会内容の反省及び課題の確認
10月	活動見学会	入会の希望者や見学希望者に対し, 見学会を設ける。
11月	役員会	発表会の打合せ
12月	コーラス発表会	〇〇老人ホームで発表会を実施
1月	会員親睦会	会員相互のコミュニケーションを深める
3月	今後の活動内容検討会	来年度の活動方針の話し合い

※総会, 役員会, 会員親睦会, 大会, 発表会など詳しくお書きください。

※定例的な練習, 学習, 稽古などは本様式に記入しなくても結構です。

□ 収支予算書

収入の部	項目	金額	内 訳
	前年度繰越金	76,000	前年度繰越分
	会費収入	180,000	15人×1,000円×12ヶ月
	合 計	256,000	
支出の部	科目	金額	内 訳
	講師謝金	36,000	3,000円×1回/月×12ヶ月
	会場使用料	92,000	・2,000円×3回(練習)/月×12ヶ月 ・総会, 役員会, 親睦会, 発表会等の会場使用料
	事務費	20,000	資料代
	通信費	10,000	会員案内ハガキ 50円×200枚
	会議費	6,000	お茶等
	次年度繰越金	82,000	
	予備費	10,000	
合 計	256,000		

※決められた書式はありません。事業計画書・収支予算書を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

会 員 名 簿

□	団体名	〇〇〇〇会
---	-----	-------

	役職	氏名	住所（在勤・在学者は名称と所在地を記入）	市内			その他 (市外)
				在住	在勤	在学	
1	会長	芦屋 太郎	芦屋市南宮町△番△号	○			
2	副会長	佐藤 夏子	芦屋市大東町△番△号	○			
3	会計	田中 秋子	芦屋市浜風町△番△号	○			
4	会計監査	中村 冬子	神戸市〇〇区〇〇町〇番〇号				○
5	会員	鈴木 春子	芦屋市伊勢町△番△号	○			
6	会員	〇〇 〇〇	神戸市〇〇区〇〇町〇番〇号				○
7	会員	〇〇 〇〇	芦屋市浜町△番△号	○			
8	会員	〇〇 〇〇	芦屋市伊勢町△番△号	○			
9	会員	〇〇 〇〇	芦屋市精道町△番△号	○			
10	会員	〇〇 〇〇	芦屋大学, 芦屋市〇町			○	
11	会員	〇〇 〇〇	芦屋市浜風町△番△号	○			
12	会員	〇〇 〇〇	芦屋〇商社, 芦屋市〇×町		○		
13	会員	〇〇 〇〇	芦屋市伊勢町△番△号	○			
14	会員	〇〇 〇〇	芦屋市浜町△番△号	○			
15	会員	〇〇 〇〇	西宮市〇町〇番〇-201号				○
16							
17							
18							
19							
20							

※会員名簿の内容を満たしている資料があれば、本書式を使用しなくても結構です。

※会員が20名を超える場合はこの書式をコピーして使ってください。

社 会 教 育 活 動 報 告 書

社会教育関係団体は、組織及び活動に参加を希望する方が新たに加わることができるよう広く入会の機会を設けたり、日頃の活動の成果を地域に還元する機会を設けるなど地域に開かれた活動が求められます。地域のさまざまな人たちとつながりを持つことで、団体と地域の双方の財産となります。
 活動内容のなかで、上記に該当するような活動を記載してください。

□	団体名	〇〇〇〇会
	活動月日	10月3日
	名称	活動見学会
	場所	〇〇センター
	活動内容	<p>コーラス協会近畿大会に参加した際に、団体のPRを行った。その後入会希望者から問い合わせがあり、10月の練習日に見学会を設けた。</p> <p>広く参加を呼びかけることにより、地域とのつながりを維持することができ、潤いのある地域文化の創造に寄与することができた。</p>
	活動月日	12月15日
	名称	コーラス発表会
	活動内容	<p>〇〇老人ホームでのクリスマス会に参加し、発表会を実施した。発表会では、一般的によく知られている曲を選び、参加者にも楽譜を配り指導者のもとで練習を行い、最後は会員と参加者が共にコーラスを楽しむことができた。</p> <p>コーラスを通じて、参加者に対し音楽のすばらしさを伝えることができ、また豊かな心を育むことに寄与できた。</p> <p>さらに、豊かな人間関係・地域関係を生み出すことにより、地域の活性化に寄与できた。</p>